

「page2027」のテーマ決定

なぜ、いま印刷するのか

—伝えるために、届くために、残るために—

テーマの趣旨

誰もが発信者になれる時代。

生成AIによって、これから情報はさらに大量に、速く、手軽に生み出されていきます。

しかし、情報が増えるほど、

本当に届けたい相手に、伝えたいことをきちんと届けることは、むしろ難しくなっています。

いま求められているのは、デジタルか紙かという二項対立ではありません。

速報性や拡散性に優れたデジタルと、手触りや編集性、信頼性、保存性を持つ紙・印刷。

それぞれの強みを掛け合わせることで、

人の心に届き、記憶に残り、行動につながるコミュニケーションが生まれます。

「印刷物でなければ伝えられないこと」がある。

「印刷物だからこそ伝えられること」がある。

page2027 は、印刷の原点と未来を見つめ直しながら、

ブランドオーナー、クリエイター、マーケター、そして印刷業界が交わる場として、

“なぜ、いま印刷するのか” をともに問い直します。

企画にあたり

来年2月のpageイベントは40回目の節目になります。また、来年2027年はJAGAT60周年でもあります。

この節目を迎えるにあたり、この先、10年20年続く土台となるような新機軸を打ち出したいと考えまし

た。今までの印刷業界向けのプリプレスを中心とした機材展という要素に加え、印刷業界の外（特にブラン

ドオーナー）に対して、“印刷物”や印刷会社の持っているポテンシャルを発信していきたいと考えていま

す。今後も印刷物の総量は減少していくことは恐らく免れないでしょう。かといってデジタルだけでは情報は埋没してしまいます。デジタルと紙の組み合わせ、まさにデジタル×紙×マーケティングの実現が求められて

います。Jagat info 4月号の本間充氏の記事「フィジカル時代における紙・印刷の活用事例」には、新しい

page が目指すものがわかりやすく描かれています。ぴあの紙の雑誌の復刊もこの文脈でとらえられると思います。

そして、page2027 では機材展から参加型イベントへとシフトしていきたいと考えています。DTP エキスパート資格取得者イベント、他団体（特にブランドオーナーサイド）との共催イベント、また、産学連携企画も予定しています。

page イベントがブランドオーナー、クリエイター、マーケターと印刷業界の人たちが交流する場となっていく最初の一步にできればと考えています。

集客の目玉として考えているのがカンファレンスです。page2027 では会場をワールドインポートマートに戻しリアル開催を行います。メディア、デザイン、コミュニティ、マーケティングなど幅広いテーマで業界外の方も広く興味を持ってもらえるようなテーマを取り上げます。

開催概要

会期 2027 年 2 月 17 日（水）～19 日（金）

会場 サンシャインシティ（東京・池袋）

以上